

公益社団法人日本語教育学会主催  
2017年度春季大会 特別プログラム  
人をつなぎ、社会をつくる

参加費無料・申込不要

5月20日(土)  
10:00~12:00  
早稲田大学  
国際会議場  
井深大記念ホール

参加受付:当日9:30~

# ——日本語教育の 現代的な可能性を拓く: 人工知能との対話

日本語教師を一生の仕事と考える者にとって、人工知能の登場は心穏やかではられません。近い将来、教師の仕事を奪うおそれがあるからです。すでにスマホやiPadが通訳の代わりに果たし、対話型ロボットが開発され、人工知能が文章を書きはじめています。「なぜ外国語を学ばないといけないの?」という疑問は、かつての「外国語を使う機会はないのに」という意味から、「外国語を学ばなくてもICTデバイスが肩代わりしてくれるのに」という意味に変わりつつあります。しかし、人間が人間から言葉を学ぶ意味は今後もきっとなくなることはないはずです。そこで、人工知能をライバルとしてではなく、パートナーとして考え、人間にできることが何かを知る機会を設けました。人工知能をとおして見える日本語教育の未来予想図と一緒に考えてみませんか。

## パネリストとテーマ



**佐藤理史氏**  
(名古屋大学大学院  
工学研究科教授)  
ことばを操る  
コンピュータ?

1988年京都大学大学院工学研究科博士後期課程研究指導認定退学。博士(工学)。  
2005年より名古屋大学大学院工学研究科教授。専門は、自然言語処理、人工知能。現在、言語処理学会副会長。近著に『Rubyで数独』、『コンピュータが小説を書く日』がある。



**山本和英氏**  
(長岡技術科学大学  
大学院工学研究科  
准教授)  
AIは道具である  
—日本語教育の  
ための自然言語処理  
の取り組み—

1996年豊橋技術科学大学博士後期課程システム情報工学専攻修了。博士(工学)。  
1996年~2005年(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 研究員。2002年から長岡技術科学大学、現在准教授。自然言語処理、人工知能、日本語教育の研究開発に従事。  
2016年から言語処理学会理事。



**伊東祐郎氏**  
(東京外国語大学  
大学院国際日本学  
研究院教授)  
人工知能への  
期待と日本語  
教育の未来予  
想図

1992年から東京外国語大学留学生日本語教育センター勤務。2011年から同センター長を務める。2017年4月より同大学副学長。  
2013年5月から公益社団法人日本語教育学会会長。現在、文化審議会国語分科会会長並びに日本語教育小委員会主査を務めている。

司会 **金孝卿** (公益社団法人日本語教育学会大会委員会副委員長・大阪大学)

人工知能・人型ロボットを使った日本語教育「こんなことできたらいいな」アイデア優秀作発表!

- ◆定員: 400名(先着順) ◆参加費: 無料(午後から行われる研究発表をご覧になる場合には、別途、参加費が必要です。)
- ◆申込不要 ◆問合せ先: 公益社団法人日本語教育学会大会担当 〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F
- TEL: 03-3262-4291 / FAX: 03-5216-7552 / E-mail: taikai-office@nkg.or.jp